

「全国財務局管内経済情勢報告概要」の主なポイント (令和4年10月判断)

財務省

令和4年11月1日

地域経済の全局判断（令和4年10月判断）

1. 全局総括判断

前回（4年7月判断）	今回（4年10月判断）	基調比較
供給面での制約や原材料価格高騰の影響が引き続きみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	供給面での制約や原材料価格高騰の影響が引き続きみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	 据え置き

- 「全局総括判断」は、前回（4年7月）から判断を「据え置き」とした。

2. 各項目の判断

- 地域経済に関する各財務局の報告をとりまとめると、
 - 「個人消費」は、物価高に伴う実質購買力の低下懸念はあるものの、緩やかに持ち直している。
 - 「生産活動」は、供給面での制約や原材料価格高騰の影響がみられるものの、持ち直している。
 - 「雇用情勢」は、緩やかに持ち直している。

3. 先行き

- 先行きについては、ウイズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

(注1)4年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(注2)下線部が基調判断。

各地域の「総括判断」の比較

	令和4年7月判断		令和4年10月判断	
北海道	<u>緩やかに持ち直しつつある</u>		<u>緩やかに持ち直しつつある</u>	
東北	<u>緩やかに持ち直している</u>		<u>緩やかに持ち直している</u>	
関東	供給面での制約の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	 〔表現変更〕	供給面での制約の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	
北陸	<u>緩やかに持ち直している</u>	 〔表現変更〕	<u>緩やかに持ち直している</u>	
東海	<u>緩やかに回復している</u>	 〔表現変更〕	<u>緩やかに回復している</u>	
近畿	<u>持ち直している</u>	 〔表現変更〕	<u>持ち直している</u>	
中国	<u>緩やかに持ち直している</u>	 〔表現変更〕	<u>緩やかに持ち直している</u>	
四国	<u>持ち直しつつある</u>		<u>持ち直しつつある</u>	
九州	<u>緩やかに持ち直している</u>		<u>緩やかに持ち直している</u>	
福岡	<u>緩やかに持ち直している</u>		<u>緩やかに持ち直している</u>	
沖縄	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、 <u>持ち直しつつある</u>		<u>緩やかに持ち直している</u>	

各地域の令和4年10月の「総括判断」は、1地域で「上方修正」、10地域で「据え置き」

(注1) 下線部が基調判断。

(注2) 矢印は、前回との基調比較。

各地域の「個別項目」の比較

個人消費

生産活動 ※沖縄は「観光」

雇用情勢

	前回 (令和4年7月判断)	今回 (令和4年10月判断)	前回 (令和4年7月判断)	今回 (令和4年10月判断)	前回 (令和4年7月判断)	今回 (令和4年10月判断)
北海道	緩やかに持ち直しつつある	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある ⇒ (表現変更)	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある ⇒	感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある ⇒ (表現変更)
東北	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している ⇒	持ち直している	持ち直している ⇒	持ち直しつつある	緩やかに持ち直している ↑
関東	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している ⇒	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	緩やかに持ち直している ↑	持ち直している	緩やかに改善しつつある ↑
北陸	持ち直しつつある	持ち直しつつある ⇒	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある ⇒	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している ⇒
東海	一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している ⇒ (表現変更)	供給面での制約等の影響がみられるなか、自動車関連を中心に回復の動きに一服感がみられる	供給面での制約等の影響がみられるなか、総じてみれば、回復の動きに一服感がみられる ⇒ (表現変更)	緩やかに持ち直している	緩やかに改善しつつある ↑
近畿	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している ⇒	持ち直しの動きに一服感がみられる	持ち直している ↑	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある ↑
中国	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している ⇒	供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている	供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている ⇒	緩やかに持ち直している	持ち直している ↑
四国	持ち直しつつある	持ち直しつつある ⇒	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直しのテンポが緩やかになっている ⇒	持ち直しつつある	緩やかに持ち直している ↑
九州	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している ⇒	持ち直している	持ち直している ⇒	緩やかに持ち直している	持ち直している ↑
福岡	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している ⇒	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある ⇒	持ち直しつつある	持ち直しつつある ⇒
沖縄	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しつつある ↑	感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	緩やかに持ち直している ↑	持ち直しつつある	緩やかに持ち直している ↑

1 地域で「上方修正」、10地域で「据え置き」

3 地域で「上方修正」、8 地域で「据え置き」

8 地域で「上方修正」、3 地域で「据え置き」

「個別項目」の特徴的な動向

1. 個人消費 ※ 1地域（沖縄）で「上方修正」、10地域で「据え置き」

- 「スーパー販売」は、物価上昇の影響によりPB商品へ需要がシフトし節約志向がみられるものの、商品単価の上昇などにより、売上は堅調である。
- 「百貨店販売」は、行動制限のない夏休みやお盆により、帰省客が増加し、土産品や衣料品などが好調となった。
- 「コンビニエンスストア販売」は、行動制限がなくなり人流回復のほか夏のイベント開催もあり、おにぎりや飲料などが好調。
- 「ドラッグストア販売」は、感染者数の増加により、抗原検査キットや解熱鎮痛剤が好調となった。
- 「家電販売」は、エアコン需要がみられるものの、巣ごもり需要の落ち着きやオリンピック需要の反動によりテレビなどが弱い動きとなっている。
- 「新車販売」は、受注は順調であるものの、一部で半導体不足の影響が引き続きみられ、メーカーの減産調整が継続している。
- 財務局のヒアリングによると、宿泊や旅行等のサービス消費は、行動制限がない中、県民割など各種支援策の効果などから持ち直しつつある。

2. 生産活動 ※ 3地域（関東、近畿、沖縄）で「上方修正」、8地域で「据え置き」

- 「自動車」は、供給制約に一部緩和の動きがみられ、持ち直しつつある。
- 「生産用機械」は、部品不足等の影響がみられるものの、国内外の設備投資意欲を背景に高水準となっている。
- 「電子部品・デバイス」は、スマートフォン向けなどで一部に落ち着きがみられるものの、5G基地局向けなどで好調となっている。

3. 雇用情勢 ※ 8地域で「上方修正」、3地域（北海道、北陸、福岡）で「据え置き」

- 製造業においては、自動車製造のほか各業種で工場稼働率の上昇により人手が足りておらず、人材の取り合いとなっている。
- また、サービス業においても、行動制限がない中、夏場の観光需要の増加などを背景に、宿泊・飲食サービス業を中心に求人が増加している。

企業等の主な声

個人消費

< 財消費 >

- 値上げを背景に買上点数が減少しており、「必要なものしか買わない」といった消費者の節約志向や、購入品によって店を使い分ける行動が顕著になっている。【スーパー・大・北海道】
- 外出機会増加により婦人服などの衣料品が好調となった。行動制限がなかったため夏休みやお盆の帰省客が増加し土産品も好調だった。【百貨店・中小・東北】
- 行動制限の緩和に伴い、おにぎり、ソフトドリンク、カウンターフードなどの行楽関係の需要が増加したことから、売上高、客数が増加するとともに、客単価が上昇している。【コンビニ・中堅・関東】
- 気温上昇や外出増加に伴い、化粧品や飲食料品等の売れ行きが好調。調剤（処方箋）も引き続き伸びており、コロナ第7波の影響で鎮痛剤や除菌商材等衛生用品の売れ行きが好調であった。【ドラッグストア・大・東海】
- オリンピック需要の反動や、インターネットで各種コンテンツを視聴する顧客層の拡大によって、テレビやDVDレコーダーの動きが鈍化している。【家電販売・大・四国】
- 引き続き部品不足の影響で生産が滞っており、前期より悪化はしていないが、大きく改善もしていない状況。受注残は積み増されており、消費者の購買意欲が落ちている様子はない。【自動車・中小・近畿】
- 外出制限緩和による巣ごもり需要の減退や、物価高による節約志向の高まりにより、インテリア用品やDIY関連用品が低調となっている。【ホームセンター・中堅・中国】

< サービス消費 >

- 全国旅行支援の開始以降、宿泊の予約が増えており、10月の稼働率は9割近くに達する見込み。外国人客の利用も増えつつある。【宿泊・中小・九州】
- 9月は台風の影響でキャンセルが多かったが、日程を変更してでも沖縄を観光したいという顧客に対し、9月後半または10月の連休に振替を行うことで、台風の影響を最小限に留めた。10-12月期の予約は好調であり、全国旅行支援の実施などにより、更なる観光需要の増加が期待される。【旅行・中堅・沖縄】

生産活動

- 依然として半導体不足が継続しているものの、その状況が改善してきていることに加え、中国ロックダウンによる減産影響が解消されたこともあり生産量は増加している。【輸送機械・大・関東】
- 経済活動の正常化に伴う設備投資意欲の高まりにより受注が回復傾向にある。【汎用機械・中小・近畿】
- 5G通信基地局向けが堅調に推移。特に欧州、中国での需要は高く受注量が増加している。【電子部品・デバイス・中堅・東北】
- 高い生産水準を維持しているものの、中国のスマートフォン向けなどで需要に弱い動きが見られることから生産量が減少している。【電気機械・中堅・中国】
- 完成車メーカーからの受注は戻ってきているが、受注が減少していた時期の在庫を抱えているため、稼働率を落としての操業が続いている。【鉄鋼・大・東海】
- 産業機械向け、エアコン向けを中心に引き続き堅調。自動車メーカーの部材不足による生産調整は継続中だが、今期は前年比でプラスを維持。【情報通信機械・大・福岡】
- 引き続き、全国的な医療用医薬品の不足を背景に受注が増加しており、後発医薬品の生産が追いついていない状況となっている。【化学・大・北陸】

雇用情勢

- 稼働率の上昇で人手が不足しているため、派遣社員の確保に努めているが、自動車関連でも稼働率が戻っているようで人材の取り合いとなっている。【電気機械・大・東海】
- コロナ感染拡大時に大量に離職した店舗アルバイトの補充ができていない。【飲食サービス・中小・関東】
- 雇用調整助成金の申請件数は減少傾向にある。【公的機関・四国】

注)各財務局は企業等へのヒアリングを主に9月中旬から10月中旬にかけて実施。

各地域の「先行き」（令和4年10月）

北海道	先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
東北	先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、物価上昇による家計や企業への影響、供給面での制約、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。
関東	先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
北陸	先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
東海	先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が緩やかに回復していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
近畿	先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外経済の下振れが景気の下押しリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
中国	先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
四国	先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
九州	先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
福岡	先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
沖縄	先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約等の影響に十分注意する必要がある。

問い合わせ先

財務省大臣官房総合政策課

東京都千代田区霞が関3丁目1番1号

Tel. 03-3581-4111 (内線) 2252, 2225

財務省ホームページ <https://www.mof.go.jp/>